

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年6月1日(2022.6.1)

【公開番号】特開2022-16645(P2022-16645A)
 【公開日】令和4年1月21日(2022.1.21)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-011
 【出願番号】特願2021-191730(P2021-191730)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月24日(2022.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報を取得可能な取得手段と、
 その取得手段により取得された前記情報が記憶される記憶手段と、
 その記憶手段に記憶された前記情報に基づいて判別を実行可能な判別手段と、
 その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示可能な表示手段と、
 その表示手段に前記識別情報を動的表示させることが可能な動的表示手段と、
 前記記憶手段に記憶されている前記情報に対応した識別図柄を前記表示手段に表示させる
 識別図柄表示手段と、を有した遊技機において、
 遊技者が操作可能な操作手段と、
 その操作手段が操作され、第1条件が成立した場合に、演出態様を可変させる第1演出を
実行可能な第1演出実行手段と、
 前記操作手段が操作され、第2条件が成立した場合に、前記識別図柄の態様を可変して表
示させる第2演出を実行することを決定可能な第2演出決定手段と、
可変条件が成立した場合に前記操作手段の操作がされなくとも表示されている前記識別図
柄の表示態様を可変させることが可能な識別図柄可変手段と、を有し、
 前記遊技機は、
 前記第1演出が実行されている期間に前記第2演出の実行が決定された場合に、前記識別
図柄の表示態様が可変され得ることを示唆可能な示唆演出を実行可能であり、
 前記第1演出の実行期間に前記示唆演出が実行されている場合に、前記第1演出終了後の
前記識別情報の動的表示期間において所定の前記識別図柄の表示態様の可変タイミングと
なった場合に前記識別図柄可変手段により表示されている前記識別図柄の表示態様を可変
させることが可能であり、
 前記示唆演出は、前記識別図柄の表示態様の可変タイミングとなるまでの期間で前記表示
手段に動的表示されることが可能であることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、情報を取得可能な取得手段と、その取得手段により取得された前記情報が記憶される記憶手段と、その記憶手段に記憶された前記情報に基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示可能な表示手段と、その表示手段に前記識別情報を動的表示させることが可能な動的表示手段と、前記記憶手段に記憶されている前記情報に対応した識別図柄を前記表示手段に表示させる識別図柄表示手段と、を有し、遊技者が操作可能な操作手段と、その操作手段が操作され、第1条件が成立した場合に、演出態様を可変させる第1演出を実行可能な第1演出実行手段と、前記操作手段が操作され、第2条件が成立した場合に、前記識別図柄の態様を可変して表示させる第2演出を実行することを決定可能な第2演出決定手段と、可変条件が成立した場合に前記操作手段の操作がされなくとも表示されている前記識別図柄の表示態様を可変させることが可能な識別図柄可変手段と、を有し、前記遊技機は、前記第1演出が実行されている期間に前記第2演出の実行が決定された場合に、前記識別図柄の表示態様が可変され得ることを示唆可能な示唆演出を実行可能であり、前記第1演出の実行期間に前記示唆演出が実行されている場合に、前記第1演出終了後の前記識別情報の動的表示期間において所定の前記識別図柄の表示態様の可変タイミングとなった場合に前記識別図柄可変手段により表示されている前記識別図柄の表示態様を可変させることが可能であり、前記示唆演出は、前記識別図柄の表示態様の可変タイミングとなるまでの期間で前記表示手段に動的表示されることが可能である。

10

20

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、情報を取得可能な取得手段と、その取得手段により取得された前記情報が記憶される記憶手段と、その記憶手段に記憶された前記情報に基づいて判別を実行可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための識別情報を表示可能な表示手段と、その表示手段に前記識別情報を動的表示させることが可能な動的表示手段と、前記記憶手段に記憶されている前記情報に対応した識別図柄を前記表示手段に表示させる識別図柄表示手段と、を有し、遊技者が操作可能な操作手段と、その操作手段が操作され、第1条件が成立した場合に、演出態様を可変させる第1演出を実行可能な第1演出実行手段と、前記操作手段が操作され、第2条件が成立した場合に、前記識別図柄の態様を可変して表示させる第2演出を実行することを決定可能な第2演出決定手段と、可変条件が成立した場合に前記操作手段の操作がされなくとも表示されている前記識別図柄の表示態様を可変させることが可能な識別図柄可変手段と、を有し、前記遊技機は、前記第1演出が実行されている期間に前記第2演出の実行が決定された場合に、前記識別図柄の表示態様が可変され得ることを示唆可能な示唆演出を実行可能であり、前記第1演出の実行期間に前記示唆演出が実行されている場合に、前記第1演出終了後の前記識別情報の動的表示期間において所定の前記識別図柄の表示態様の可変タイミングとなった場合に前記識別図柄可変手段により表示されている前記識別図柄の表示態様を可変させることが可能であり、前記示唆演出は、前記識別図柄の表示態様の可変タイミングとなるまでの期間で前記表示手段に動的表示されることが可能である。

30

40

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】5045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【5045】

50

1 0	パチンコ機（遊技機）	
8 1	第 3 図柄表示装置（表示手段）	
2 0 3 a	特別図柄 1 保留球格納エリア（記憶手段の一部）	
2 0 3 b	特別図柄 2 保留球格納エリア（記憶手段の一部）	
1 0 3 1 7	P U S H ボタン（操作手段）	
S 3 0 9	判別手段	
S 4 0 6 , S 4 1 3	取得手段	
<u>S 3 4 0 5</u>	<u>第 1 演出実行手段</u>	
<u>S 4 0 5 6</u>	<u>第 2 演出決定手段</u>	
S 4 0 5 3 , S 4 0 6 3	識別図柄表示手段	10
S 4 2 0 5	動的表示手段	

20

30

40

50